

令和6年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	高知県庁			代表者名	濱田 省司
担当者部署(属性)	その他	担当者部署名	土木部技術管理課	連絡先電話番号	088-823-9826
担当者役職	主幹	担当者氏名	川原 正人	連絡先E-mail	
住所	780-8570 高知県高知市1丁目2番20号				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署			
担当者氏名		連絡先電話番号		連絡先E-mail	

1-3. 支援を求める内容

支援方法	具体的課題への支援	事業名	建設業界の担い手確保に向けた講演会		
概要	建設業界は担い手確保が困難な状況にあり、処遇改善や働き方改革などに取り組んでいます。大学生への生産性向上の推進等に関するインフラ分野のデジタル化について先進的な内容の講演及び意見交換を通じて、地域におけるインフラ分野のデジタル化を推進する将来の担い手の育成へつなげたい。				
支援を求める分野	5G 防災 教育情報化/情報教育 スマートシティ				

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	無				
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和7年1月23日	講演(実地)	8時50分	10時20分	
			活動時間（分）	90	
2-2. 派遣場所	会場名	高知大学朝倉キャンパス		最寄駅	朝倉駅
	所在地	高知市曙町二丁目5番1号		最寄駅からの交通手段	徒歩

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	古屋 弘
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	対象となる大学生へ、生産性向上の推進等に関するインフラ分野のデジタル化について先進的な内容の講演において、これまでのイメージとは異なる将来も見据えたのインフラ分野の魅力を伝えていただき、最終目標としている建設業界の担い手確保に向け、意義な講演会であったため。
アドバイザーへの要望事項	特にありません。

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	合計人数	39人	
	属性 自治体職員 住民	企業・団体 その他(学生など)		
人数	0	0	0	39

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	建設業界は、担い手確保が困難な状況にあり、時間外労働規制等にも対応しつつ、処遇改善や働き方改革、生産性向上などに取り組む必要があります。これまでの建設業界のイメージを転換するため、インフラ分野の最新のデジタル技術について適切な理解を促し、地域におけるインフラ分野のデジタル化を推進する将来の担い手の発掘と育成へつなげる必要がある。
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	対象となる大学生にインフラ分野のデジタル化についての現状や将来の展望について適切に理解してもらうことで、建設業界のイメージの転換を促す。

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	建設業界の将来の担い手確保につながるよう、インフラ分野のデジタル化について先進的な内容について講演いただいた。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	建設業界は「3K」という従来の負のイメージがあるところ、最先端の建設業界の状況や将来の建設業界の目指すところの講演により、イメージの転換が行えた。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑦その他
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	講演後のアンケート結果によると、建設業界のイメージが変わった等の意見が多く、建設分野へのイメージの転換が図られた学生がいる。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。	
	個人情報に当たる氏名以外の箇所について、アンケート結果を別途提出します。	
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	⑤その他
	引き続き建設業界の担い手確保につながる講演等を実施してく。	
4-4. 事業の最終的な目指す姿	大学生への講演により建設業界のイメージの転換を図ることで、周囲の方々又は地域において建設分野の魅力発信につなげ、本人や周囲の方々が建設分野又は関連する職業に就職することにより、地域の守りてとして活躍し、安全安心な社会インフラが整備・維持され地域住民が住みやすい社会を築き幸せをもたらす。	

5. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可
------	---------------------------

なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真 (JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

